

剣道防具を
買う前に読む本!

★「こんなはずじゃなかった…」ではもう遅い！

なぜ剣道防具を 通販で買うと 失敗してしまうのか？

防具カタログをたくさん集めただけで本当に大丈夫ですか??

— 実際にあった失敗例を多数掲載！ 読むだけでも勉強になります。 —

うが ゆういちろう
宇賀 雄一郎 著

心から満足できる剣道防具を手に入れた人…

痛くて使い物にならない防具を買ってしまった人…

その違いは、たったコレだけの事でした!!

1 実際にあった
失敗例を知る。

2 その原因と
対処法を学ぶ。

3 理想の
剣道防具を
手に入れる。

はじめに

私は今、プロの武道具店主ですが、過去に剣道防具の購入に失敗したことがあります。恥ずかしながら皆田をせいで下さい。

当時どんな防具を私が買ったかというと、

- ・ 1. 0分本手刺 面金・チタン 甲手・頭総紺鹿革2段飾、2段生子
胴60本漆塗、うぐいす金茶龜甲 垂・8段飾

これだけを聞くとなかなか良いやつな防具だと思いませんか？
実際その通り、確かに良い防具だったのです。

どうして何を失敗したかですって？

サイズを極端に測り間違えたのです。

いよいよ武道店を開業する前のやいざん昔の話だとしてもひじご話です。

「痛たたたた・・・痛い・・・。」私の場合、サイズの合わない防具はとにかく苦痛以外何者でもありませんでした。面は極端に小さすぎて、まず頭が入らない。あごを無理やり押し込めても額が面の内輪の天に当たって届かない。後頭部が面布団から飛び出している状態で使っていたのですが、こめかみの辺りがだんだん痛くなり10分以上は痛くて使えません。使用後にはこめかみと額がすれて真っ赤になってしまひます。こんな防具で剣道が上達するはずがない、と私は思いました。

高いお金を払ったにも関わらず、見ぬのも嫌な感じです、早く忘れたい・・・

甲手は逆に大きめでぶかぶか、周りの方と比べて明らかにふた周りは大き

さういふとパット見て分かります。こゝら甲手縄をさつしても、甲手頭が大きいのでさういふもあります。竹刀を握つても内部で余つてしまふ力が全く入りません。そんな防具に愛着を感じるはずもなく私は使つてしまふが全く入りません。寂しい情けない思いをした事があるのです。

だからこそ私は書います。

防具を買うのは、正しい知識を得てからにしてください。

泣くに泣けない思いをした私でしたが、この小冊子を手に取ったあなたは防具の購入で失敗することはもうありません。そればかりか購入する防具によつては5万円から10万円以上の得をくることがあります。

え、信じられない?お氣持ちはわかります。

しかし、わずかな知識を持つていているだけで防具を購入する際に得をしている人たちがいるのは確かなことなのです。これはあまり聞かない話だと思います。当然です。みんなが知らないからこそ、一部の人たちが得をしているのです。

どんな知識を得れば、確実にワンランク上の防具を手にすることが出来るのか。購入した防具を心底気に入つて練習に励むことが出来るようになるのか。あなたが防具選びでしなくてもよい損をしないように、この小冊子では今まで防具業界のタブーとして明かされなかつた秘密をお伝えします。

その前に！

この小冊子は、読んで欲しい人と読んで欲しくない人が決まっています。お互い貴重な時間をムダにはしたくありませんからね。

□こんな人へ読んでください

- ①カタログだけを見て剣道防具を買うことが不安な人
- ②周りの人よりもワンランク上の防具が欲しい人
- ③たとえ新しい防具を買っても、古い防具も大切にする人
- ④体にちゃんと合った防具で快適に稽古に励みたい人

□逆にこんな人は読まないでください。

- ①馴染みの武道具店で購入しないとどうしても気がすまない人
- ②広範囲に及ぶ鮫皮の使用や虎、竜などの豪華絢爛な刺繡など豪華な装飾を防具に
お望みの人や刺しのひとつひとつにまでこだわりたい人。
- ③子供の学資保険を解約してまで自分の防具を買おうとしている人
- ④防具を買っただけで満足してしまい稽古に励む気のない人

さあ、それでは理想の防具探しの旅へ出発しましょう。
用意はいいですか？



第1章 お金をドブに捨てないために

早速お話を始めたいのですが、中には私を疑っている人がいるかも知れません(笑)。

「そんなつまらない事言つて、所詮あなたも武道具店なんだから、自分に都合の良い事しか言わないんでしょ!」

なるほど、確かに・・・

私が同じ立場なら、やはうれしい思いします(笑)。

私がこの小冊子を書いた理由は、やうですね・・・

私は四国の中田和で小さい武道具店を運んでおつまみが、店の中大変便利になりました。

私のお店にはホームページがあるのですが、毎日全国からたくさんのお問い合わせやご相談をいただきます。

剣道防具の専門店とは書いたものの、誰も知らない地方の小さなお店なのです、それでも最近では本当にショックなくらい沢山お問い合わせをいただくなりになりました。

中には販売している防具の仕様や価格に関する質問もあるのですが、とにかく一番多いのは防具の選び方、そしてサイズのあわせ方にについてです。

そんな質問に対する私は、店長の守護が出来るだけ直接お応えしてきましたが、ある日、ふと気がついたのです。

剣道防具は高価な買い物にも関わらず、どうも多くのお客様は購入前に

防具選びの正しい選択基準を持つていない様だと。

それを教えるのが店主の役目?
まあそれもそういうかもしません。

しかし剣道防具は、一生モノです。だからこそ、お店に問い合わせをする前に、しっかりした選択基準は自身で持っていた方が良いはずです。

事実、あなたも「どのカタログを見ても同じに見える」と感じたり、「近所の武道館店から買おうかな?でも安いのは通販だし・・・」と迷ふでいるはずです。

そんなお客様へお伝えしてきた私のアドバイスをまとめたものがこのガイドブック

クです。この先、誰かのお貸し出しのない、高さバー提供して貰いたいと思つて
います。

ただし、もしあなたが「とにかく一寸でも安く手に入れば、防具の質は関係ない」と
考へて居るのなら・・・。残念ながらこの場合は、どうか、この小冊子を今
すぐじかに譲り下せり・・・。

思ひつた・・・ページをめくつとからいで、少しホッとしました。

と言つのも、あなたはまだ、大切な事を知りません。それを知らずに情報を集めても、防具選びで失敗してしまつかもしません。

ためしに、次のように想像していただけ。

たつた今、あなたの剣道防具が仕上がりました。手元には武道具店からの請求書、開封し、金額を確認しました。間もなくあなたの財布からはたらくお金が出て行くことになります。

そこであなたに質問です。

「その剣道防具は、支払うお金の価値に見合つていらぬでしょつか?・そしてそれをどう判断したら良いのでしょつか?」

しかし、出来上がってしまった後で価値を評価してもそれでは意味がありません。お金を支払った後で「失敗しました」では遅すぎるのです。

重要なのは「事前」に違いを知り、「納得」してから防具を注文する」ことです。比較検討している武道具店や防具の違いを事前に正しく評価出来ていれば、理想の剣道防具を手に入れることが出来るのではないでしょつか? ぐどいですがもう一度繰り返します。

事前に「選択基準」を知る」ことが一番肝心です。

知らないから不安を感じます。分からなから、じいかで妥協する」ことになるのです。

事実、選択基準を持たなかつたために、つらい思いをした人がいます。

次は、そんな少し悲しい実例を見てみましょう。

第一章 誰だつてまさか自分に災難が降りかかるとは思つていません

「まさか、私がこんな目に合つなんて・・・」

「だから通販で買うのだけは止めねばよかつたんだ。」

「これは防具選びで失敗した人の決まり文句です。サイズが合わない、届いた防具がイメージと異なっていた・・・お客様の目からは、大粒の涙が溢れ出しそうになります。」

■防具選びの失敗例 その①

先日、県外よりあるお客様がいらっしゃいました。一田呪で高段者の先生だと気づきましたが、娘さんを連れて当店のある香川県へ「讃岐うどん屋めぐり」についてに寄りたかったです。購入されてから20年くらい使用している防具を拝見して、その風合いで良い防具は本当に長く使えていいなど私が感心していましたね・・・

お客様・「実は、この大切にしていた面なのですが・・・」

私・「え? しまつたか? 立派な面ですか?」

お客様・「サイズが合っていないんですね・・・」

私・「――――」

お密様・「20年間ずっと…」

私…「……………」

実際に面をかぶっていたのですが、なるほどサイズがあつていません。物見にいたってはひとつ上の隙間から見ていて、アゴを深く引いてしまう悪いクセがついている事に「自身でも気がついていたりでした。

20年間ずっと稽古のたびに頭が痛いのですが、高価な防具なので我慢して使われていたそうです・・・一度これではダメだと思い、面の仕立て直し修理を依頼したそうですが、思ったようには直らなかつたそうです。購入時に、サイズを自分で測ったことをとにかく後悔したと話されていました。

■防具選びの失敗例 その②

「♪ロ♪ロ♪ロ♪～！」

とある県の県警の方よりお電話をいただきました。

「あつ店長、お伺いしたいのですが、今防具を3組持つているのですがどうも最後に買った防具はサイズがあつていいようなのです。もちろん購入時には武道具店さんに身体のサイズを測つてもういました。

サイズがおかしいと購入した武道具店に言つたんですが、「汗を吸うと内輪は広がるからもう少し待つてみてください。」の一点張り、もう購入してから10年くらい経つのですがどうなのでしょう?高校の時に同じ武道具店さんで購入したひとつめの防具は全然そんな事はないんですよ、ピッタリなんです。だからおかしなと思つてゐんです。その店長さんって絶対に間違えたって認めないんですよね。これつ

「普通ですかい。」

「安心ください、明らかにサイズを間違えています（笑）。

馳染みの武道具店もだだかりに迷っていらっしゃります。防具なんてそういう買い換えるものじゃないのでどれが正しいのかどれが間違っているのかわからない。でも正しいサイズの面はかぶった瞬間にすっと頭が面に納まりますからすぐに分かるものなのですよ。

■防具選びの失敗例 その③

その方は剣道仲間と一緒にある有名店の通販で防具を買ったのですが、届いた面をかぶった瞬間、嫌な予感がしたとの事。

「ま、まつたく頭が入らない・・・」

すぐ近く電話器を取ってお店に電話したというのです。

「どうしてくれるんだー！サイズが合わないじゃないかー！」
と連絡したというですが、

「ネームを入れてしまつてるので交換でもません。ウチはお客様からいただいた
サイズで正しい防具をお届けしました」との事。

何とも悔しい思いから、泣く泣く面を仕立て直して欲しいと頼んでみましたが、

「仕立て直しには別途費用かかります。」とこう言葉が返つてきました。
「いや驚いてこなしてはこなせん。この方のお話が凄いのは「」かかります。

「一体どうしたよ？・・・」と一緒に防具を貰った知人に連絡したといふ、

「実は俺もや・・・サイズが合わない。今お前に電話しなのとひととじでいいんだよ。」

「じゃあ、お前の面と俺の面、交換してみよつか?」

と掠れかわだといふの向とお互いピッタリ。

何事も無かつたかのように今では防具を使つてこまづが、本当に危ないといふのでした。(つづいていふですが実話ですよ。)

いかがですか? じのように剣道防具を貰つたときにサイズの間違ことこのひのせ本当によくある事なのです(特に通信販売におこす)。

「もう止めてくださいーー」なんに失敗例を聞いていたら私も防具選びに失敗しきつですよー！」

いいえ、まだまだです（笑）。

私は心を鬼にして防具選びの失敗例をあなたにお伝えします。なぜなら、防具選びに失敗しないためには、

あなた自身が防具選びの失敗例を知つておく事が不可欠だからです。

他人の不幸は蜜の味、という訳では決してありませんが、例えば、道を歩いていて、水溜りの場所があらかじめ分かっていれば、簡単に避けて通る事が出来るのと同じことです。

■防具選びの失敗例 その④

当店のホームページを見て高校生の女の子がご家族でご来店されました。今使っている手刺防具は高校入学時に皆で揃えたものだけど、サイズが大きいとの事。お持ちいただきていたので拝見させてもらいうと・・・

かぶるまでもなく、パッと見て大きすぎる防具だという事が分かりました。面の内部に面パッドを上、下両方に付けています。まあサイズはこれで良いとしても、物見が一段ずれています。新しい防具をお店で合わせてみましたが、「視界が広い!」と喜んでました。

■防具選びの失敗例 その⑤

今度は高校生の男の子。中学の時より、お父さんが昔使っていた防具を借りて使っていたのでそれから自分の防具が欲しいということでした。実はこの方、数日前に通販でミシン刺し防具を一式買ったばかりでした。しかし面が合わない。「こんな事もあろうかと返品可能なお店で購入していたようですが、どうも納得できません。」ご来店いただいたので頭のサイズを測って見ると・・・

私「うん68センチですね。」

お客様「そうですか！じゃあやっぱり私の計測で合っていたんだ！」

お父さんのサイズの測り方には問題はありませんでした。にもかかわらず、なぜか届いた防具が合わない・・・いろいろ話し合った結果、違うサイズの面が送られてきましたという結論になりました。本当にこんな事があるのですね。

念願だった剣道防具が仕上がった。早く稽古で使ってみたいー・そんな矢先の出来事です。これではいくら良い防具でも心から喜べそうにありません・・・確かに、このような、失敗ばかりが起きている訳ではありません。しかし、失敗するからには何かを間違ってしまった事は確かです。それは一体、何だったのでしょうか?

第3章 あらためまして、こんにちわ。

話の途中ですが、自己紹介を。

四国で武道具屋を営んでおります宇賀（ウガ）と申します。

■子供の頃は

小学1年生の頃から父に連れられ剣道の道場へ。冬の寒さがとにかく嫌で、見たいテレビ番組も見られないし、仮病を使って休んだりもしていました。

そんな私が唯一楽しみだったのが剣道の夏合宿。広い道場に蚊帳を張つて仲間と寝たり、夜はバーベキューや花火をしたりとにかく人とワイワイするのが好きでした。



幼少の頃の私（写真中央）

高校時代にはインターハイ制覇・大学時代に全国大会で団体優勝・現在は県警の機動隊に所属…といった輝かしい経歴はひとつもありません（少しひつくりしました?）。

現在五段。今でも稽古の度に悩み苦しきであります。最近の課題は手の内です。

そんな私が、またか武道商店の店長にならひませ…。

■ ひるで私の住む香川県の人は全員、

「自分が一番、讃岐うどんに詳しき」

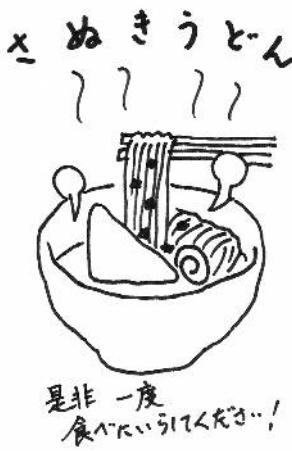
と思つていねんですよ。（そんなものですから全国的な讃岐うどんブームの時は全員があーだ、こーだと大変でした）本当に。こんな庶民は他にはいないと思つます。

私の妻は横濱生まれですが、今では私よりうどんを食べています。みんなうどんが大好き。一日一食は当たり前、クリスマスだってお正月だって「讃岐うどん」です。

もちろん私もむかひておわのうどん店があります。

店内撮影禁止、商売の気はゼロ。しかし、その方の作るうどんは本当に本物。ツルツル、シコシコ。うどんの麺が喜びのあまり笑っています。

あっ、すいません、今日は剣道防具のお話でしたね！



■私が武道具店を開業した理由。

話はさういふん前にやかのぼります、これも本当にあった話・・・

私の父は剣道教士七段、地元の道場で他の剣道仲間と子供たちに剣道を教えていました。私も幼少の頃から父に連れられて近所の剣道の道場に通つようになつていました。これはそんな父の話です・・・

ある晴れた日の朝、父は自宅の駐車場に止めてあつた車がないことに気がつきました。

「おい！車がないぞ！」

家族は誰も車を使っていません。車が盗まれたという事実に気がつくまでにさう時間はかかりませんでした。すぐに警察へ連絡したのですが、一番困つたことはその

盗まれた車のトランクに、長年使用してきた大切な、大切な防具が入っていた事。大好きな稽古にいくことが出来ません。仕方なく古い防具を押入れから取り出し、埃を払い、稽古に通いました。

約2カ月後、警察から突然の1本の電話。

「宇賀さん…喜んでください。犯人が捕まりました！今すぐ警察にきてください！」

犯人にたいする怒りは収まりませんが、とにかく少しだけホッとしたのを覚えていきます。

しかし、世の中そういう甘くはなかつたのです・・・
車は発見されたのですが、肝心の防具がどこにも見当たりません。

「何かおかしい…」父は驚いた。

犯人の若い男に防具はどこへやったのだと父は問い合わせよつたといい、犯人の口から平然と想像を絶する一言がでたのです。

「邪魔だったで海に捨てた。」

耳を疑う一言。

こんなことが現実にあって良いのでしょうか？

犯人の顔に反省の色はありません。剣道家にとつて命の次に大切にしている長年の思い入れの詰まつた防具が無残にも意味も無くただ邪魔だったという理由で海に捨てられてたのです。父の顔は傍目にも怒りで真っ赤になつていきました。目には涙が浮かんでいました。私も心の底から怒りが込みあがてきました。しかし防具は

一度と戻つてもあせん。思い出も文句通り海の底に沈んでしまいました。被害総額150万円、やむつてもたお金はたつたの60万円・・・(なぜかって、犯人がどうも知人の息子さん(ーーー)だったからです・・・)

その後、車と防具を弁償してもらつたが、私の武道具店に対する意識が180度変わつたのです。父は、剣道雑誌を見てカタログを数社から取り寄せ、あれにしようか、これにしようかとまるで子供のように真剣そのものでした。そんな父を私は初めて見て嬉しく思いました。「ああ、良かった。これで何もかも元通りになる・・・」

そう、大切なものはお金では買えませんでした。そんな父の姿を見て、そんな人を幸せにする防具を販売する武道具店は幸せだなど素直に思いました。そして、いつしか防具を販売することが私の使命だと感じたくなりましたのです。

私は今、そんな想いがたくさんつまつた武道具店を経営しています。

■こんな思いで開店したもの…

じぱいは鳴かず飛ばずのじにじむある普通の武道具店だったと自分で思います。ホームページも見よう見まねで作って見ましたが、とにかく全く売れませんでした。ネット通販の売上の用が半年くらい続きました。このままでは家族が食べていけないので、私の父が営む仕出し屋で、吐く息が白い早朝3時から料理盛り付けのアルバイトと並行しながら試行錯誤していました。

お金がなかったのでホームページは全て手作り、防具の写真も全て自分で撮影していました。8回目のホームページの改定にかかっていた頃（もう疲れ果ててました）、ようやく当店のホームページからはじめて防具が売れたのです。

「やったー！」

文字通り、妻と手を取り合って喜びました！妻は確かお祝いのケーキを買ってきました。何度もお姉様とお電話でお話をし、丁寧にひとつひとつ防具を梱包し、

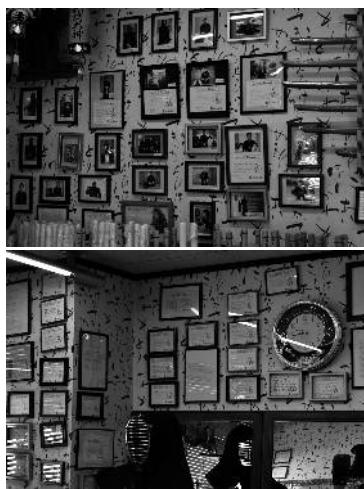
「割物注意」「天地無用」のシールを必勝以上にいたぐりと貼つてお送りした日を今でも鮮明に覚えています。

月日が経ち、今ではホームページを通じて全国から沢山、防具の「注文をいたぐりようになりました。防具を買っていただきただけでなく、お客様の方から笑顔の写真やお手紙、野菜、ジャム、フルーツ。いろいろ送つてくださいませー！」

今は毎日、ホームページを通じて防具を販売する事が

楽しくて仕方がありません！

（すゞーー！天職つて本当にあるんですね♪）



↑ 店内には全国のお客様からいただいたお手紙や
お便りがたくさん飾られています！

第四章 一体、何がどう間違っていたのか？

それでは話を元に戻しましょう。

あなたはどのようにして防虫を選ぼうとしておますか？

「えっ、私は防虫のカタログをいくつか取り寄せ、
その中から良さげなものを選ぶつもりです」

はい、失格。「ブーゲー！」叫びて床から落っこ穴に
落ちてしましました。

「えつ？ 私？」

「う、あなたです。



「な、なぜ?」

剣道防具をカタログだけを見て選ぼうとしたからです。

おやじくほとんどの方が、そうだと思います。防具を購入する機会なんてもう一つあるものではありますんで「防具の知識」「どう選んだらいいか?」といった「防具選びの基準」は、意外と難しいものです。事実、ほとんどの方が「予算に合つ」「カタログ写真がきれい」といった理由が中心で、「実際に使うときのこと」を考えずに選ばれていますことが多いのです。その結果、以下ののような残念な思いをしてしまつことがあります・・・

「サイズが合わず、痛くてまるで使い物にならない」

「カタログ写真と実物が全然違う」

「セール品買つてしまい、安物買ひの銭失いになつてしまつた」

このような失敗の大きな原因はこれからお詫する二つの事です。

■失敗した原因① 防具カタログを過信してしまった。

事実、ほとんどの人が手刺し防具を買つ時に、以下のパターンに陥ります。

1. 近くの武道具店へ出向き、防具のカタログをもらつてくる
2. ホームページ、剣道雑誌を見ていくつかカタログを取り寄せる
3. それらのカタログを並べて、その中から良さそうな防具を選ぶ

そして多くの人がこいつ思つのです。

「よし、たくさんカタログを集めたら!」この中から選べば必ず良い防具が買える!違ひない!」

それでも多く方が防具選びに失敗しています・・・

確かに防具カタログは分かりやすく大変便利です。しかし、そのカタログしかが多くの防具選びの失敗を生んでいた事実に多くの方は気がついていません。

豪華なカタログはいい武道具店の証ですか？

防具選びは大変難しいものです。ひとつのかたログを見ただけでは防具の良し悪しは分かりません。だからお密さんも身構えて購入前に沢山カタログを集めて、比較し自分でいろんな情報を得るようになりました。そのことを知つてこの武道具店は、とにかく他店より「立派なカタログ」を作るようになりました。

「どうですかーうちのカタログ、凄いでしょー・分厚いでしょー・」

「どうですかーうちのカタログ、写真が凄く綺麗でしょー・」

「どうですかーうちのカタログ、とにかくお金かけてますー・」

立派なカタログはお金をかけている証拠。小さな武道具店には逆立ちしたつて真似

できません。腕のいい「プロカメラマン」が撮影する「写真」は間違いなく一級品です。
そして多くのお客様が喜んでおられます。

「うん、立派なカタログだ。この武道具店はなかなかいいやー。」

カタログが素晴らしいのはいいことです。感心するのも個人の自由です。实物を見ることなく、豪華なカタログを見ただけで欲しくなってしまう・・・。そういうお客様さんが錯覚してしまっても無理はありません。でも・・・まだ肝心の防具をその田で見ていません・・・。本当にどうせ、

「防具の仕上がり ≠ カタログの豪華さ」です。

必ずしも防具の出来とカタログの豪華ではイコールではありません。逆にカタログがお粗末でも良い防具を販売されている武道具店さんは沢山あります。このことを知っておくだけではあなたはカタログに惑わされず、本当に良い防具をこの田で探さうとするはずです。

■失敗した原因② サイズ測定をいい加減にしてしまった。

実は、通販などで自分で自分のサイズを測ることは極めて危険な事なのです。私もホームページを通じて全国へ防具の通信販売を行っていますので、自分で自分の首を絞めるような事を言ひますが本当のことです。

だからと言って店舗で測定してもらひさえすれば問題ないのでしょうか？

武道具店の店員さんはサイズ測定のプロです。何人も計測していますのでそれは正しくはかる事ができるでしょう。しかし、ここにも大きな落とし穴があります。それは

「人の頭の形は皆違う。」ということです。

後頭部が出ている人がいれば私のように絶壁な人もいます。アゴが出ている人がい

れば丸顔でほっぷの大きな人ももちろんいます。いぐらメジャーで測った寸法が同じだからと言って、同じ面が入るとは限らないのです。

余談になりますが、2000年の年8月2日の日付の日経新聞の記事があります。ネット通販で買い物をした際に一番不満が多い商品を調査したものですが何か想像つきますか？

実は「靴」なのだと思います。

足はいぐらサイズが同じでも、幅広の人もいれば甲高の人、ほつそりした人さまざまです。いぐらサイズが正しへても靴だけは履いてみないと分からないとこういふ人も多いでしょう。

靴でやるやうなのですから、より複雑で物見を合わせる必要がある面になればなおさらです。自分で測りうが、店員さんで測って貰おうが、メジャーだけで測る事自

体がすでにサイズが合わない危険性をはらんでいるのです。こんな事を言ってしまふと通販自体が成り立たなくなつてしまいしますので誰も大きな声では言いませんが、私は本当の事だと思つています。そして、防具のサイズが合わない原因の多くがメジャーでの測り間違いに起因すると考へています。

サイズの測り方、特に面にに対する対処方法は第5章でお話ししますので安心を。

ネット通販に不満ある?



靴で4割、服飾品に多く



自宅にいながら様々な商品が買えるインターネット通販について、日経生活モニタ1に聞いた(8月中旬実施、有効回答数2,482)。利用経験がある人に総合的な評価を尋ねると「非常に満足」「満足」が合せて87%だった。ただ、商品別に聞くと「やや不満」「非常に不満」の声も少なくなく、靴(41%)やアクセサリー(29%)など身上に感じるもので目立つた。

不満と答えた人の理由で、ネット通販の「宿命」として「商品を手にとて確認できぬ」が最多。「実際に着てみない自分で似合うかどうか分からぬから、ネットでは買わない」(20代男性)という人もいた。

第五章 それでも良い防具を安く買いたいなら 通販だと決める

「これまでいろいろな通販による失敗例をお話してもましたが、私は別に通販を否定している訳ではありません。むしろ高品質な剣道防具を安く手に入れるには通販しかないと勧めています。

しかし通販となるといづれしても「安からぬ懸念」といづれイメージが付いてしまうのです。

しかし、これは単なる「誤解」でしかありません。

少し考えてみれば当然なのですが、実は通販を行つてゐる武道具店のほとんどが、

店舗も併設しておられます。

もともと店頭で防具を買われる方は、防具实物を確かめて納得してから購入していく訳で、その際に品質に問題があるとはあまり考えられません。店舗で販売する防具と通販で販売する防具は基本的には同じ防具でしようから当然です。

「通販だから防具のレベルを下げて販売してやる」ところはもと考えられません。

つまり、通販を行つてゐるお店は通販を通じて全國の多くのお客様に喜んでもらおうと日々、良い防具を安く販売しようとする経営のものに對して真剣であるとも言えるのです。価格が明瞭なのも大切なポイントです。

通販で防具を買うときの問題は「通販だから防具の品質が心配だ」というよりも、むしろ「サイズを自分で測ることによる失敗」にあるでしょう。

そしてそのサイズ間違いへの一番の対処方法とは。

「購入前に必ず、いくつか面をかぶること

なのです。

「・・・えっ、それだけ?」

という声が聞こえてきそうですが、たったそれだけの事です。

剣道防具は大変高価な買い物にも関わらず、購入前に防具を身体に合わせることをしない人が大変多いのは残念です。近所の武道具店でさえサイズを合わせる面を



置いていないこともしばしば・・・その結果、メジャーでは正しく測ったと思つたのに仕上がった面がどうもサイズが合わないという悲しい結果になるのです。

実は購入前に面をかぶつてみると2つの大きな意味があります。

①自分の頭のサイズを簡単に測れること

メジャーで身体のサイズを測るのは慣れた人でも難しいもの。かぶるだけで誰にでも正しいサイズが分かります。

そしてもう一方のより大切な意味は・・・

② 実際の仕上りサイズを事前に確認できるないと

いぐり正しく事前にサイズを測ったとしてもそのサイズで作られた防具が必ずしもピッタリ身体に合うとは限りません。メジャーで測つたら68センチだった人は本当に68センチの面でピッタリ合うのか?頭の形によつて差はないのか?もちろん合わない人もいます。基本的にやり直しのきかないオーダーメイドの手刺防具を買うなら必ず面だけはかぶることをオススメします。購入前に仕上がり寸法の面をかぶつてみるとことによりサイズ間違いはほとんどなくなります。

以上の事から、防具を購入するベストな方法は通販を行つてゐる武道具店へ行くことです。実物を手に取ればイメージ通りの商品が手に入るし、店頭にある面もかぶることが出来るでしょう。かぶつてみれば驚くほど簡単に、小学生にでも正しいサイズが分かりますからサイズ間違いも驚くほどなくなるはずです。(当店にも福島、福井、金沢、石川、東京、大阪、名古屋、兵庫、岡山、福岡、など遠方からお越し

いだだく事が多くなりました。やれぼじ地じて防具遊びに真剣な証拠です）

通販の場合は、見本防具やサイズ測定用面を貸出してもらひえのより頼み込んでください。電話口で無理だと言われたら、直接店長さんにお願いして（店長権限でもつて）「大切に扱いますし、送料は自分で負担しますから!」とサイズの異なる面をいくつか貸出を希望してみてはいかがでしょうか。自分でサイズを測定する不安を考えると、実際の面に頭をかぶつてみる事ができるなりそのくらいの出費は決して高くはないと思います。（お店では遠方のお客様用にサイズ測定用面の貸出サービスがあります）

いぐりの返品や交換保証があるからといって自分でメジャーでサイズを測つていきなり注文ーとなることだけは間違つても止めさせていただきます。

第六章 良い武道具店の本当の見抜き方教えます。

いよいよこの小冊子も最終章。
ここで少しだけこれまでの話を整理してみましょう。

はじめに私達は「防具選びの失敗例」を確認しました。そして知ったことは失敗した人々は、正しい防具選びの選択基準を持っていなかつたという事でした。

そして間違いのもとは、スタート時点にあった事。カタログ写真だけを鵜呑みにして防具を選んでみたり、サイズの測定をいい加減に行なうことがいかに危険な事か。

さらに、防具自体が粗悪品だったという失敗例よりも、サイズが合わない、思つ

ていた防具と違っていたといつ失敗の方が最近では多いことわざびました。

さて本題に入りますが、この最終章では実際に知識と経験があり、モラルの高い武道具店を見抜く具体的な方法をお教えします。

「正しい防具選び」とは「正しい武道具店選び」に他ならないこと。むしろその1点に集中する方がきっと良い結果を得られます。

まず聞かれるのは、武道具店にこもなり電話で問い合わせたり、資料を請求したりするのは贅い方法ではありません。是非、次のステップを順に進めてください。

①まず、「どんな剣道防具なら要らない」リストを作ります。

あなたの頭の中を整理する作業からスタートします。簡単なもので。

- いくら価格が安くても、ペラペラでねたれて痛いような防具なら要らない。
- 物見が合わない面は要らない。
- すぐに壊れてしまい、頻繁に修理が必要な防具なら要らない。
- 堅くて身体に馴染まず、使いにくい防具なら要らない。
- アフターサポートのない武道具店の防具なら要らない。

などと、「あなたに合いませんない剣道防具」をリスト化してみたんだよ。

②「理想の剣道防具の条件」を決める

これも簡単です。先の①「こんな剣道防具なら要らない」リストの逆を考えるだけです。いきなり「理想の剣道防具の条件」を考えようとしても、なかなか明確にならない事が多いので先に要らないリストを作つて見ました。

- 購入時に少しひらり高くても、しっかりした作りで長く使える防具であること。
 - 物見がピッタリであること。甲手も大きすぎず小さすぎず使いやすいこと。
 - 柔らかくて身体に馴染み、使いやすい防具であること。
 - 通販であれども、店舗であれどもアフターサポートがしっかりしていること。
- といった具合です。

③情報収集をはじめる

初めは、剣道雑誌やインターネット、手元にあるカタログなどを見ていください。ただし、まだ武道具店さんには接触しないでください。

④気になる武道具店さんの『一番のウリ』が何か確認してください。

一口に武道具店といつてもそれぞれ専門があります。柔道や空手用まで幅広く扱うスポーツ店タイプの武道具店だったり、店長が剣道具職人だったり様々です。

- 「当店は手刺防具の専門店だ」
- 「小学生用の防具をたくさん販売しています」
- 「地元の中学校、高校の授業用に防具を納めています」

●「当店の防具は高級者の先生に愛用されています」

欲しい防具が明確であるなり、その防具の専門店から買うことをオススメします。専門以外のお店から購入するといつことは、例えば歯が痛いのに、眼科へ診察にいくようなものだからです。専門店というからにはたらく専門販売してこねでしょりし、その防具に関して専門の知識をもつ店員さんが必ずこなめかでります。

⑤いよいよ接触開始。良い武道具店と悪い武道具店を見極めます

絞り込んだ武道具店に、カタログや資料の請求をしてみましょ。

良い武道具店は、資料を心待ちにしているあなたのために、素早く送付手続きを取ります。中には速達で送つてくる武道具店もあります。メールで何かしら質問した時には当たり前のように回り中で返信が戻ってきます。中には1時間程度で必ずメールの返信があるお店もあるのです。

一方、でもの悪く武道具店は**何かにつけ対応が遅い**のです。資料は忘れた頃に届きます。何より、届いた資料そのものに誠意が感じられず、片付け仕事のようです。あなたが資料を受け取つて「気持ちは良し」と感じた武道具店を選びましょう。ただし、本物の眞極ぬまじれからです。

⑥意識の高い武道具店は「正しい質問」で見極める

一口に武道具店といつても、これらあります。地元密着で子供達から愛される武道具店もあれば、全国に通信販売で沢山防具を販売しているやつあります。

意識の高い武道具店もんじにかく店員さんがイキイキしてます！元気がいい！お洒れなめで元気がいい！出来ればそんな親切で元気のある武道具店から貰います。

防具を買いたいものですね。

そんな心から愛せる武道具店を見極めるために何に何を投げかけてみることが有効です。

では先に、「出しあなた質問」「間違った質問」となど異なるものでしてみる。

●「この防具と竹刀をセットにしてだいたいいくらにならますか?」

●「人気の胸型はどのタイプですか?」

●「棒刺しとナナメ刺しどちらが良いのですか?」

●「ネーム刺繡の糸の色はどんなものがありますか?」

これらは実際に良くある質問ではあります、結論を申し上げると、良い武道具店を見抜くために投げかけるには間違った質問です。なぜならこの質問は「この武道具店から防具を買つべきか?」とこの事柄とは直接何の関係もないからです。

実際、「このように質問してもたいていの武道具店の店員さんは聞かれる内容をほぼ予想しています。もしかしたら、ライバル店と比較検討される事も承知の上で売りたい」と思っています。ですから「これら」の質問に関しては「自分達にとって都合の良い答え」をあらかじめ用意しているのです。

それでもあなたは限って武道具店を見抜かなくてはなりません。その場合は、通常武道具店が聞かれる「このように」「どうやる？」といった質問を投げかけて**相**

手の反応を見ることが極めて効果的です。

●「過去にサイズが合わなかつた例はありませんか？」

いきなりこう聞かれて「ドキッ」としない武道具店はないはずです。残念ながら、武道具店を長年経営しているとサイズ間違いのひとつやふたつはあるはずです。人間誰しも悪い事を云ふことがあります、正直怖いものです。相手がお客様ならなおなりです！

自分が不利になる経験談を、包み隠さず話してくれる武道具店なら信頼できるはずです。しかし、普通に考へれば「いや、特にないですよ」と言つはずです。私は性格が悪い（笑）ので、格好つけて良い事ばかりいう人間はあまり信用しません。自分の恥をさらけ出しているくらいこの人の方がどんどん好きになります。

●「110万円ある20万円と40万円の防具ですが、何が違うのですか？」

「このように聞こいて貰って貰いたい。もひとつ普通の武道具店なり次のとおり聞こます。

「どちらも良くて防具ですよー。」と。

しかし、お客様のことをやさしくお聞きしてこの武道具店はお客様に防具の長所だけではなく短所も余すところなく教えてくれます。だからこそお客様はそれぞれの防具の**長所**、**短所**と**価格差**を総合的に考えて比較検討ができるのです。

良い武道具店は、「金額分の差としては、まず防具の表面を保護するために纏つてある鹿革のランクが異なります。40万円クラスの防具は「小唐」と書いてキメの細かなしつとつし

た最上級の鹿革を使用しています。

よく高段者の先生方の防具を見るとじつとした印象を受けることがあります
が、それはこの鹿革の違いに大きく起因します。20万円クラスは「中唐」という
鹿革を使用していますが、それでもクラリーノなど人工の革と比べると遥かに良い
です。「中唐」と「小唐」は遠めに見ても違いが分かりますが、実際の使用感は革に
よって大きく変わるものではありません。あくまで見た目の話です。

安い手刺防具の中には牛革やクラリーノを使用しているものもありますが、買つ
たときにはいくら安くてもすぐに使い物にならなくなりますので避けたほうが無難で
す・・・」

といった風呂口にカタログに載っていないことを教えてくれます。

●「お客様アンケートがあれば見せてください」

「これは自信のある武道具店なら聞かれて嬉しいはずです。武道具店の意識が高ければ高いほどお客様の声には敏感です。それは「どうすればお客様に満足してもらえるか?」を常に考えて、レベルの向上の努力をしているからに他なりません。良いお店は広告ではなく、口コミや評判、紹介で成り立っています。他のお客さんが「何が決め手」になって防具を買ったかを知るにはお客様アンケートを見せてもらひうのが一番です。

●「貴店の防具は確かによさそうですが、他店さんの防具はどうですか?」

「ウチの防具はとにかく『最高』です!」

「ウチの防具はとにかく『凄い!他店のはダメ!』」

武道具店の店員さんは自分の取り扱う防具の話ばかりになると感じたことはありますか? とにかく他店の防具が一番ですといった店員さんは他店の防具を実はあまり知らないかもしれませんのです。

誠実な武道具店なり他店の防具を聞かれたことがあります

「確かに他店さんの防具にも素晴らしいものばかりあります。」と本当の事をお客様にお伝えすると思います。

その上で、「しかし、防具ところの防具の仕様や飾りばかりで行きがたですが、サイズをあわせる事がよほど重要なのですよ。身体にピッタリあった防具というのはそれだけで軽く感じて動きやすくなるのですから。」といった話をしてくれるかもしれません。

●「サイズは必ず合いますか?」

「お客様が正しく測っておれば大丈夫です。」

といつて返事がきたら**要注意**です。なぜなら

お客様側でサイズを正しく測る事自体が極めて難しいからです。

「当店にお越しにただければ責任を持つて採寸します。」
「サイズ測定用に面をいくつかお送りしましょうか?」

といつた対応なら安心ですね。



●「万一、サイズが合わない場合、ネーム刺繡が入っていても交換できますか?」

サイズが合わなかつた場合、

- ・新品と交換してもらひえるのか、仕立て直しになるのか
- ・仕立て直しの場合は有料なのか、無料なのか
- ・交換の場合はネーム刺繡が入ついていても可能なのか

細かく事前に確認しておいて必要があります。聞ききついことだかういへ、はじめに聞いておかないと後から『まあいことになつてしまひます。

●「特大寸(特小寸)の場合、追加料金になりますか?隠れた料金はありますか?」

身体が特別大きい方、小さい方。その為に防具を別注する事になると特別費用がかかることがあります。通常10%~20%くらいでしょ。支払い時に困らないよう製作前に確認しておいてください。

(当店は特大サイズの防具でも追加料金はありません)

⑨具体的に話を進める上で注意してほしい事

これまで良い武道具店を見抜く正しい質問をお伝えしましたが、これらは質問を投げかけて見て、あなたが納得できた武道具店が合格です。合格した武道具店にだけ防具の細かい仕様の説明を聞いてみましょう。

その際に、少々細かな人間だと印象づけた方が有利です。「少し細かい事を言いつようだけど我慢してね」と。あなたがそう一言云えるだけで、担当者に細心の注意を払う意識が生まれます。

くれぐれも剣道家として「横柄に接する」事とは異なりますので、ご注意を。

⑩向店へいって話をしてみるか？

私も「複数の武道具店に防具の見積もりをとるべし」と考へます。ただ、そのとき極めて大切なポイントがあります。

複数の見積もりを比較すれば、確かに「見た目の金額差」は分かります。しかし、本当に長い目で見て得か損かの、その金額だけを見て判断できる人は少ないはずです。確かに武道具店はお客様に自店の防具を販売したいと思っています。そう考へると「他にもいくつかの武道具店さんに見積もりの依頼をしています」と云うだけで、相対的に価格を下げる効果があるように思えます。

ところが、自信をもつてこの武道具店は違います。

質の高い武道具店にいる程「この防具の価値に見合った内容で価格を決めている」と自信をもつているものです。

仮にあなたが「こつちは密なんだぞー」と横柄な態度で価格交渉をしても、「それなり、他の武道具店에서도買つてください」ひなむねあです。

そもそも少し交渉しただけで簡単に何万円も値引かれるようなら「もとの価格の根拠は？」と疑いたくなります。

安くできるのなら最初からそうすべきなのです。

そして、もう一つ大切な事があります。

価格競争させ、武道具店との交渉に勝つたとしても疑問が残ります・・・

武道具店は、例え必要以上に価格を下げて販売したとしても、利益を出せなければ潰れます。その為には防具の材料の質を落としたり、手抜きをしたり・・・もつお分かりだと思います。

無理のある商談内容が、良い結果をもたらす可能性は、の剣道防具の購入

に関しては非常に低いのです。単純に、価格だけを比較しても「安物買いの銭失い」にならかねませるのでくれぐれも注意ください。

良い防具というのは大切にすれば本当に長い間、ボロボロになるまでも使えるものですから・・・

最後に…

待ちに待った剣道防具がやっと届いた。箱を開けてみると真新しい防具特有の燻した鹿革の良い香りが鼻に飛び込んでくる。最高だ！妻はこの匂いがどうしてもダメだと囁うが、私には理解できない。

袋から出して一目見て分かった、注文通りじいろか、想像していたよりもずっと良い仕上りだ！職人さんの細かい仕事が光る。しかも大変申し訳ないのだが近所の武道具店で購入するよりも圧倒的に安かつた！

まずは面をかぶってみる。軽い。十年以上使っている私の古い防具とは雲泥の差だ。唯一心配だった物見の位置もピッタリでとにかく視界が広い。面布団はまだ真新しくまつすぐのままだが、これから面紐を取り付けて来週の稽古に備え型をつけておこう。

次は甲手だ。さすがに新品なので古い甲手のようにはいかないが、2、3回稽古すればすぐに馴染む予感がある。甲手に悪い手の内の癖が付かない為には最初が肝心だ。この甲手には意識して正しい竹刀の持ち方を心掛けよう。

胴を身体に当てる。竹胴と胴台の緩やかなカーブが少し気になりだしたお腹周り（もう諦めている?）にもフィットする。腕の上下にも邪魔にならずこれなり合格だ。

最近の垂は最初から柔らかいな。でも布団にコシがあって使いやすそうな良い意味での柔らかさだ。ゼッケンも合わせて新調しておいて良かつた・・・

「私の剣道人生において、
長く愛せるパートナーが誕生した瞬間だ！」

いかがですか？

思い描いた憧れの剣道防具を手に入れたあなたは、**めりといJのよひに喜んでいるはず**です。

さて、私はこの小冊子の中で次の情報提供をしようとしたしました。

- 剣道防具選びの失敗例、それも実例をお伝えするJこと。
- 多くの人が失敗する、根本的な原因を明らかにするJこと。
- あなたが抱えている不安や悩みを解決すること。
- 売り手の本音を知り、自己防衛策を学ぶJこと。
- 良い武道具店と悪い武道具店を見抜く質問の仕方を覚えるJこと。

そして、あなたと私の結論は「いかに意識の高い武道具店を選らか」に行き着きました。私はこの小冊子があなたの役に立つと信じ、選択基準を出来るだけ分かりやすく客観的にお伝えしてきたつもりです。

決して上手な文章ではありませんでしたが、お力を貸していただき、大変うれしく思いました。

これから、剣道防具選びをされるあなたに「選択基準を事前に身に着けな」事が出来たとすれば、少しだけ嬉しい事はありません。

安心できる素晴らしい武道具店さんを見つけ、最高の剣道防具を手に入れていただいくことを心から願っています。

ファイト！

2010年1月

百秀武道具店店長

辛賀 雄一郎

著者について



宇賀 雄一郎 (ウガ ユウイチロウ)

米国モンゴメリーハーバード大学卒。前職が米国公認会計士という異色の武道具店主。剣道の腕は普通、有名大会での優勝経験もナシ。過去、自分の防具の購入に失敗し、実父の防具が盗難にあった経験がある。だからこそ、お客様の防具選びには真剣で、全国の中段者からの信頼も厚いという。年間のメール相談数は2,500件を超え、アメリカ、ドイツをはじめとする海外からも注文を受ける人気店の名物店長。自ら書いた小冊子「なぜ通販で剣道防具を買うと失敗するのか?」は「防具選びの盲点だ!」、「中学生にも読めた!」と好評を得る。過去に自ら防具選びに失敗した経験から、購入前に防具を貸し出す、「手刺防具見本・サイズ測定用の面貸出サービス」を開始。カタログだけを見せて防具を販売する現在の武道具店の販売スタイルのあり方に一石を投じている。

剣道五段 (13年ブランクあり、犬が好き)

百秀武道具店 (ひゃくしゅうぶどうぐてん)

〒768-0060

香川県観音寺市観音寺町 2968-13

TEL: 0120-74-0823 (泣いて喜ぶオヤジさん)

FAX: 0120-74-0824

メール: info@tezashibougu.com

<http://www.tezashibougu.com>
